

「みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり」

校(地)区の小地域福祉活動計画づくりは、
自分たちの地域の困りごとについて話し合うだけでなく、
地域の将来像や未来に残したいつながりを
かたちにしていく取り組みです。
みんなで次の世代にバトンタッチできる
「ふくしプラン」を作りましょう!
お近くの社会福祉協議会が
みなさんの地域の計画づくりをバックアップします。



北九州市社会福祉協議会				
地域福祉部	地域支援課	TEL	882-4425	FAX 873-1351
	各区事務所	※下記に記載		

区事務所(区社会福祉協議会)				
門司区	事務所(門司区社会福祉協議会)	TEL	331-3688	FAX 331-5994
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	322-2966	FAX 331-5994
小倉北区	事務所(小倉北区社会福祉協議会)	TEL	571-5452	FAX 571-9553
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	562-2051	FAX 562-2051
小倉南区	事務所(小倉南区社会福祉協議会)	TEL	951-5388	FAX 951-5391
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	951-5220	FAX 951-5391
若松区	事務所(若松区社会福祉協議会)	TEL	761-3422	FAX 761-3660
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	761-2208	FAX 761-3660
八幡東区	事務所(八幡東区社会福祉協議会)	TEL	681-6601	FAX 681-6013
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	662-0911	FAX 662-5671
八幡西区	事務所(八幡西区社会福祉協議会)	TEL	642-5035	FAX 642-5077
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	642-0407	FAX 642-5077
戸畑区	事務所(戸畑区社会福祉協議会)	TEL	871-3259	FAX 881-8557
	社協ボランティア・市民活動センター	TEL	881-8555	FAX 881-8557



続 つくってみよう! わたしたちのまちの ふくしプラン

～現計画の向こう側へ～
二次計画以降の策定の手引き

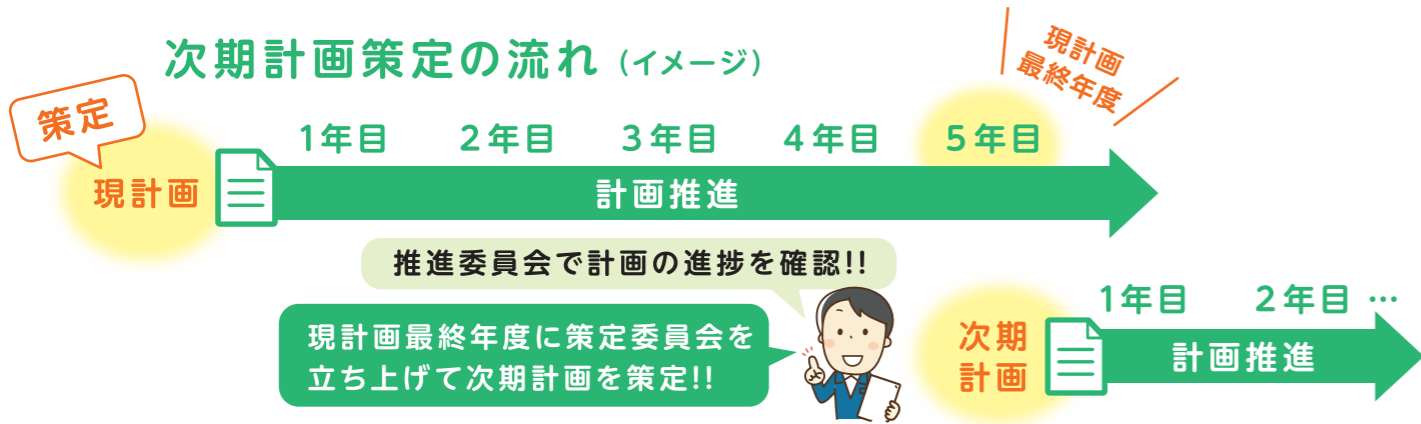


プチボザウルス

次期計画の策定

現在推進している計画(以下、現計画)の最終年度を迎えたタイミングで、
現計画をふりかえり、次期計画の策定に向けて動きだしましょう!

次期計画策定の流れ (イメージ)



策定の手順

ステップ2と3は順番が入れ替わっても良いですし、同時に進めていくこともできます

ステップ1 次期計画について話し合う場をつくりましょう

- まずは現計画について話し合ったメンバーに呼びかけてみましょう。
- この機に、新たなメンバーに協力をはたらきかけてもいいかもしれません。
例) 社会福祉施設や学校、企業、ボランティア団体、当事者グループなど
- さまざまな考え方を受入れ、経験や年齢などの違いを感じながら、自由に意見を出し合うことが大切です。



工夫のポイント

話し合いの場に親しみやすい名前をつけてみた!

協力してほしいところには手紙を出した!

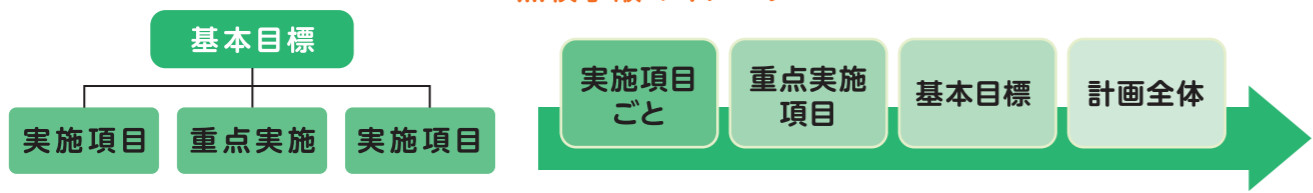
話し合いの終わりに次の日程を調整するようにしている!

ステップ2 現計画の成果をみんなでふりかえりましょう

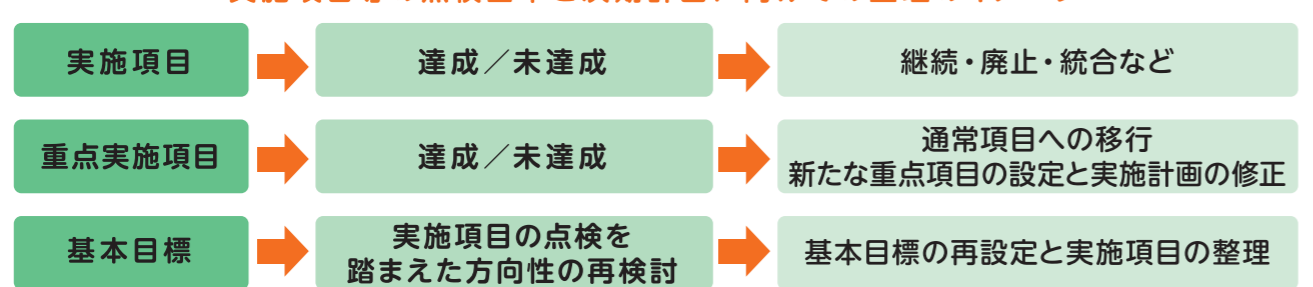
- 「活動状況自己点検シート」を活用すると地域の強みや弱みが共有できます。
- 「計画点検シート」等を活用して、実施項目ごとに継続・廃止・統合することも検討しましょう。
- 基本計画(計画の体系図)や基本目標を見直すかについても話し合ってみましょう。



点検手順のイメージ



実施項目等の点検基準と次期計画に向けての整理のイメージ



ステップ3 新たな取り組みや困りごとがあれば整理しましょう

- 現計画推進中に、地域で新たに生まれた取り組みや困りごとを洗い出しましょう。
- アンケートを行って住民の意見を聞いてみるのも良いでしょう。
- 5~6人ずつのグループに分かれてワークショップを行ってみるのも良いでしょう。



ステップ4 重点実施項目を選んで段階的な取組を考えましょう

- ステップ2~3の内容を振り返り、重点実施項目を選びましょう

重点実施項目を選ぶポイント

- ① 今後の「福祉のまちづくり」の柱となるもの
- ② 新しく取り組んでいくもの(新規実施項目)
- ③ 大きく改善して進めようとするもの
- ④ 短期間では実施が難しいもの(事前調査・準備が必要なもの)

ステップ5 計画書としてまとめましょう

- 第1次計画書のような冊子版もしくはA3(両面)版で計画書を作成しましょう。



【計画に記載する内容例】

冊子版(活動者向け)	A3版(住民向け)
①計画策定にあたって ○計画の性格、意義、期間等 ②校(地)区の現状と課題や社会資源 ③基本計画と実施計画 ○基本計画(体系図) ○実施計画(重点実施項目) ④計画の推進 ⑤その他 ○策定経過 ○策定委員会名簿	①前期計画で達成できたこと ②新たな課題をふまえた基本計画(体系図) ③新たな取り組みの実施計画(重点実施項目)

A3版の場合は、「活動者向け」と「住民向け」の2パターンの計画書を作成するなど、読んでもらいたい方によって記載内容を変えるのも良いでしょう。



ステップ6 住民に広報しながら計画を推進していきましょう

- 活動者、関係機関・団体及び地域住民への周知、広報を行い、次期計画を推進していきましょう。
- 現計画で明らかになった取り組みの成果は積極的に広報しましょう。
- 計画推進中に新たな仲間が加わった場合は、アイデアや意見を出しやすい工夫をしましょう。
- 推進体制や計画の修正の必要性などについてもみんなで話し合ってみましょう。